

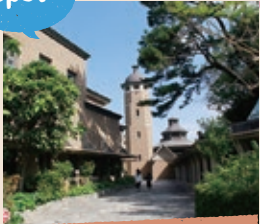
＼あの作品のロケ地へGO!／

# 美ら島ロケ地めぐり



数多くの映画やドラマ作品でロケ地になっている沖縄。  
ロケ地となった市町村の魅力を再発見しよう!!

Spot



浦添市美術館

日本初の漆芸専門美術館・沖縄初の公立美術館として平成2年(1990)に開館。

Shop



サンシルクSHOP

市の養蚕絹織物施設サン・シルク内でうらそえ製品を販売するショップ。

View



浦添城跡

13世紀末につくられた城(グスク)で、200年余りに渡り琉球国中山(ちゅうざん)の歴史の舞台となったお城の跡です。現在では浦添城跡と数多くの文化財を含む一帯が浦添大公園として整備されています。

🎬 今回のロケ地作品



©Urasoe City 2022

琉球タイムライン2 (2022年)

2021年公開の浦添市初の本格的ショートアニメの続編。古琉球と現代を舞台に、女子高生・城間あかりと中山王・察度(さつと)が繰り広げる歴史ファンタジー。市内のスポットも多数登場し、浦添の歴史についても学べる作品。

協力:OCVB 沖縄フィルムオフィス

## ★ 浦添市のお土産



**おきなわ浦添桑菓撰 (そうかせん)**  
浦添特産の絹織物「うらそえ織」の絹づくりのため栽培される桑の葉の粉末を用い、市内の和洋菓子店が開発したお菓子の詰め合わせ。

かつて琉球の王都として栄えた歴史あふれるまち

沖繩本島中南部に位置する浦添市は、面積は約19平方キロメートル、人口は約11万人の都市です。首里以前の琉球の王都として貿易や文化の中心として栄えていたと伝えられ、浦添城跡をはじめ、今なお数多くの史跡が残っています。浦添の語源は、「津々浦々を襲う(支配する)」とされており、そのことから当時栄えていたことが伺えます。また、浦添城主・英祖(えいそ)王の母親は、太陽が体に入る夢を見た後に彼を身ごもったと伝えられ、英祖自身も太陽の子と言われた伝説があります。それにちなんで沖縄の方言で太陽を意味する「いだ」と「子」を合わせて「だこ」とも呼ばれます。

歴史や文化が息づく一方、米軍人やその家族が住んでいた外人住宅を改装したオシャレな店が立ち並び港川外人住宅街や大型商業施設、浦添市美術館などが点在し、住みやすい街ランキングで全国上位に入るなどの実績もあります。

広告